

♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
♡ お知らせコーナー ♡  
♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

### 善意銀行

8月12日 預託者 石田サヨノ氏 金5万円 亡叔父 庄一様の香典返しとしてありがとうございました。

8月29日 預託者 北九州市門司、石丸 昌義・牧 静枝氏 金7万円 亡父伝之丞様の香典返しとしてありがとうございました。

「ふるさとは遠くにありて想うもの」とか、叔父石丸伝之丞は若くして門司に居を構えて活躍、何時も故郷に想いを馳せ白壽（99歳）で天寿を全う、その意を呈して遺族から預託があったものです。合掌（石丸 適）

### 敬者の日記念式・慰安会

9月15日（日）大津島中体育館で大津島診療所綿貫先生の「痴呆について」の講演・カラオケ・舞踊・豪華商品が当たる福引抽選などが行われます。

大津島地区的敬老者は220人で米寿3人・90歳以上11人となっています。

### 第5回大津島地区秋季大運動会

9月22日（日）大津島小運動場で行われます。プログラムの編成は、午前は学校、午後は一般中心です。会場への車も運行されますので、多数参加して下さい。

### 老人クラブの交流会

9月24日（火）須金と大津島地区的老人クラブが、秋の交流会を須金で行います。参加申込みは各老人クラブにして下さい。

### モデル地区推進委員研修会

9月25日（水）大津公民館で第4回目（交流学習…同和問題解決への実践化）の研修会が開催されます。注…開催日が24日から25日に変更になりました。

### 市民体育大会

10月10日（体育の日）市陸上競技場他で開催されます。大津島地区体育振興会からは、ゲートボール・ソフトボール・バドミントン競技に出場しますので応援お願いします。

### 大津島文化祭

10月20日（日）大津島中学校で開催されます。

◎編集後記…朝夕涼味を覚え過ごし易くなりましたが、時節柄ご自愛下さい。

限られた紙面ですが、地域の皆さんに役立つ記事を掲載したいと考えています。情報、ご意見等お寄せください。

# 潮流

第42号

平成8年9月5日発行

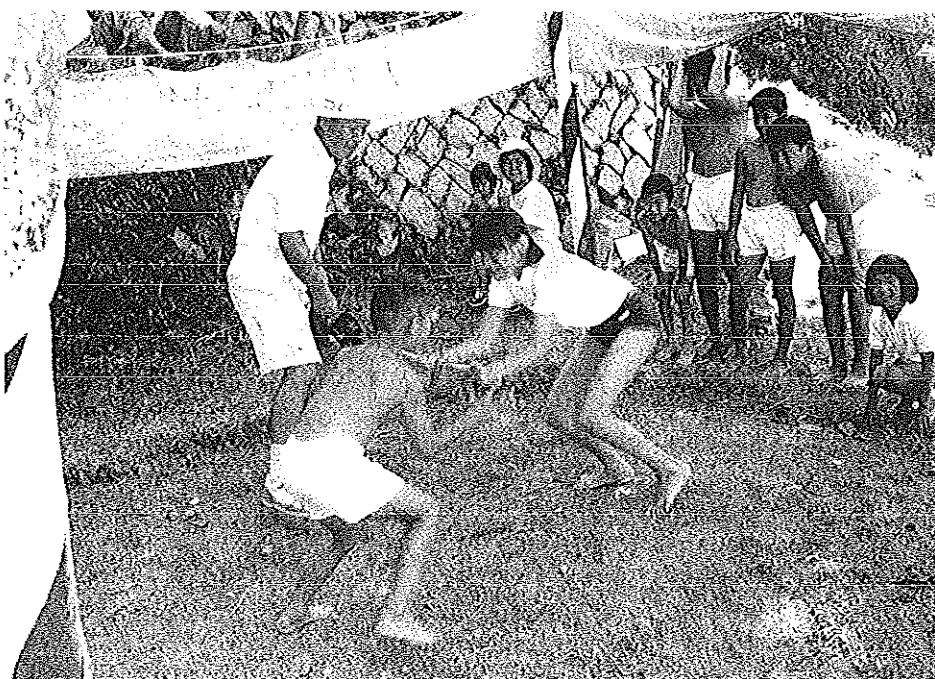
大津島地区コミュニティ推進協議会

### お大島相撲大会

「皆さん応援をお願いします。」

子供たちが長い列になって上がる階段に響きわたる公民館の放送。びっくりしているうちに次々訪れる地区の人。やんやの喝采のうちにはじまった秋の祭りの草相撲。赤白無差別級の団体戦、三人勝ち抜き大相撲、全校生を相手にしたびっくり相撲「先生14人ごぼうぬき戦」、そして出ました小学校職員女相撲、とうとう出ました校長対教務主任の力相撲（？）。ジュースに、ささげ弁当、おひねりに（ちょっといただきすぎだと思いましたが）「えいえいおう」のかけ声で笹を誇らしげにふりながら階段降りるその途中「ウミガヒロガッテマスネエーセンセイ」と澄んだ声。私だけがこっそり呼ばれて食べた「牛乳入りところてん」おいしかったなあ。

幼稚園の相撲共々楽しい思いが今も心に広がります。





## 中学校くすの木学級 宿泊訓練

8月18～19日（日・月）1泊2日の宿泊訓練が行われました。活動を通して社会規範の基礎を培い、自らの能力に挑戦する態度を育成するという目的で実施されました。

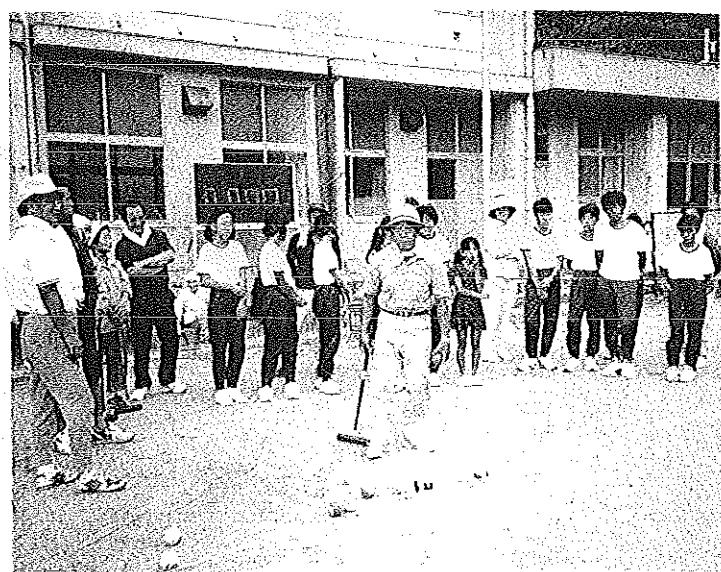
生徒たちは、ペットボトルを材料に口ケットを作製し、水口ケット飛ばし大会を開いたり、樋を作ってソーメン流しをしたり、カッターを漕いで五つ島へ行ったり…と、充実した2日間を過ごしました。

この訓練で学び取ったことが、どのように反映されるか、2学期以降が楽しみです。

## 親子ふれあい奉仕活動

9月1日（日）夕刻に中学校グラウンドにて実施されました。草刈り作業・三世代交流ゲートボール大会・懇談会と夜おそくまでお付き合いいただきまして誠にありがとうございました。

この行事を通して両親、地域の方そしてお年寄りの方のご熱心な働きぶりを身近で見させていただくことができました。お蔭さまで中学生も勤労の尊さを知ることが出来たと思います。心から感謝申し上げます。



## 能古十人墓供養祭

去る9月1日、能古島十人墓を守る会からの招聘により会長以下6名が新幹線やバス渡船を乗り継ぎ関係者に迎えられ定刻3時に能古永福寺に参詣、最初に墓の由来を掘り起こされた郷土史家高田先生から山口県文書館の御蔵本日記（徳山藩記録）からの史実説明があった。それによると筑前能古島の千六百石船頭太郎治、加子19人共20人乗りが大阪ひた屋の「すほん」3,350本を積んで大津島沖に停泊中9月2日の昼7つ時（午後5時）大時化になり6丁の錨を入れたが帆柱が折れ流されて沈んだ。大津島では早速救助活動を始めたが10人を救助し残りの10人の遺体を収容したのは6日であった。事の次第は筑前に早飛脚で知らされた。その間船頭の頼みで浜に埋葬し流失物を収集、大阪のひた屋から手代と筑前から二千石船で船頭百蔵が来島しすべての事後処理を終え帰国したのは10月7日であったのが概要。………

つづいて詠歌、読経と懇親会で旧交を温め意義のある供養祭でありました。

数多い遭難の中で手厚く回向されているのは十人墓のみと云うことで情に絆されると同時に子孫が判明しないながらも能古島をあげて先祖の供養をされる心情に心うたれながら晩夏の能古を後にしました。（中濱 末喜）



## 消防ナサイレンの設置

このほど、近江・瀬戸浜地区の消防機庫側にそれぞれ消防サイレンが取り付けられました。今まで無かったために火災等での通報体制が心配されていましたが、これでこの様な不安が解消されました。

大津分団では近々に団員等に取扱説明会を開催することにしています。